

ISO9001規格改訂説明会を全国12都市で開催しました

2008年改訂は顧客満足向上、法令・規制要求事項順守、組織の方針・目標の継続的改善を通して望まれる成果を目指すことが強く意図されたものです



ISO9001規格改訂説明会(大阪会場の模様)

年末のISO9001改訂を控え、登録組織から、問い合わせが多く寄せられたことから、JQAはISO9001登録組織向けに改訂に関する情報を提供する「ISO9001規格改訂説明会」を開催しました。JQAには直接登録組織に説明することで、ISO9001を経営により一層有効活用してもらいたいとの思いがありました。この説明会は、7月1日から8月6日にかけて、全国12都市および、海外ではタイにおいて総計34回、参加者は11,250名に及びました。他の認証機関に先駆けた開催ということもあり、JQAでISO9001の認証を取得している組織だけではなく、認証取得を検討中の組織、

他の認証機関でISO9001を取得している組織からの参加もありました。説明会はJQAのISO9001主任審査員が講師を担当し、規格改訂の背景、改訂の具体的な内容を説明。さらに、2008年規格に適合するマネジメントシステムを構築する際のポイント、現行の2000年版から適用規格を移行する際のスケジュールなどについても解説。JQAからの情報提供の場でしたが、参加者からたくさんの意見や要望も出されました。そうした生の声は、審査サービスのさらなる改善に活用されます。ISO9001規格改訂説明会での質疑応答の主なものを以下に取り上げます。

主な Q&A

Q1

改訂のポイントは？

A1

要求事項は基本的に変更はありません。2000年版発行後、組織が2000年版のISO9001の意図を必ずしも正しく理解しないで、品質マネジメントシステムを構築・運用している例が見られたため今回の改訂では2000年版の規格要求事項を明確化することになりました。組織の事業活動の実態に基づき「顧客に望まれるアウトプットを提供するためのQMS」を構築・運用管理することが強調され、その中で製品に適用できる法令・規制要求事項の順守についても明確化されています。これらのことから、顧客満足向上、法令・規制要求事項順守、組織の方針・目標の継続的改善を通して望まれる成果の達成を目指すことを強く意図しています。また、ISO14001との整合性の向上も目的に掲げられています。

Q2

序文の「望まれる成果」とはどのようなものと考えればいいのですか？

A2

「望まれる成果」を生み出すために構築されたQMSが、組織の事業活動の実態に基づき適切に構築され運営管理され、顧客に望まれる成果を生み出すQMSとなっていることが重要です。改訂説明会では(顧客満足を得るという組織の成果)と説明しました。また、トップによる組織の方針・目標に基づいたQMSの運用の結果も「望まれる成果」が期待されます。「望まれる成果」は組織／企業体を取り巻く状況により違ってきます。

Q3

移行審査を受けるにあたって準備すべきことは何ですか？具体的な移行手順を教えてください。

A3

まず改訂で明確化された規格の意図に基づき、現状のQMSを見直してください。2008年規格の意図と違っている場合は、その意図に合うようにQMSを修正することが必要になります。見直した結果修正が必要と組織が判断した場合は、新しいQMSに基づいて内部監査を行い、それに基づくマネジメントレビューを行なってください。見直した結果、従来から2000年版を正しく理解し2008年版となってもQMSの変更を要しない組織においては、従来どおりの対応をしていただければ問題はありません。この場合は、従来行なっていた内部監査、マネジメントレビューは、「2008年版の内部監査、マネジメントレビューを実施した」とことみなすことができます。見直した(検証した)証拠としての記録は残しておいてください。品質マニュアルの引用規格が記述されていれば、ISO9001:2008である必要があります。

Q4

規格要求事項に変更がないのに、なぜ移行審査を受ける必要があるのですか？

A4

規格要求事項は基本的には変更はありませんが、規格は追補改訂になっているので移行審査を受ける必要があります。2000年版の内容にあいまいな部分があったため、その運用を本来の趣旨と違った内容で行なわれている組織もあると思われるので、2008年版の規格意図を使って再度確認します。

Q5

「有効性に重点を置いた審査」とありますが、具体的にどのようなことが指摘されるのでしょうか？

A5

ISO9001の定義では「有効性」とは「計画した活動が実行され、計画した結果が達成された程度」となっています。それぞれの組織では、トップマネジメントが設定した品質方針、品質目標があり、その達成に向けた活動が継続的に実施されているかを審査します。この運用が「有効性」を達成するような活動になっているか否かで指摘する場合があります。

JQAホームページにおよそ40件のQ&A集が掲載されています。

ISO9001およびJIS Q 9001の2008年版発行のスケジュールと2000年版から2008年版への移行情報

■規格発行スケジュール	8月	9月	10月	11月	12月
FDIS*1	発行	投票期間			
ISO9001:2008*2			発行予定		
JIS Q 9001:2008*3					発行予定

■移行期限は24ヶ月。IAFとISOが発表

8月20日付でISO本部のウェブサイトにて、IAFとISOがISO9001:2008に関して共同コミュニケを発表しました。そのコミュニケによると以下のとおり2008年版の移行に関して言及されています。

- ・ ISO9001:2008発行の1年後以降、発行される認定された認証は（新規または再認証）、すべてISO9001:2008でなければいけない
- ・ ISO9001:2008発行後24ヶ月の時点でISO9001:2000の認証はすべて失効する

また、IAFとISOは今回の改訂で要求事項の追加はなく、変更点は既存の要求事項の明確化とISO14001との整合性を意図した点であると述べています。（IAFとISOの共同コミュニケのJABによる和訳を右ページに掲載しています。）



ISO本部ウェブサイト (<http://www.iso.org>)

JQAはIAFとISOの共同コミュニケにのっとり移行審査を含む2008年版審査を実施します。下記の事項については正式に決定した上でご案内します。

登録組織のみなさま

- ・2008年版移行に関する手続き
- ・2008年版移行審査の実施期間
- ・2008年版審査の開始時期
- ・2000年版審査の終了時期

新規申込をお考えのみなさま

- ・2008年版の新規申込受付の開始時期
- ・2000年版新規申込受付の終了時期
- ・2008年版審査の開始時期
- ・2000年版審査の終了時期

*1【FDIS】

Final Draft International Standard（最終国際規格原案）の略。ISOで作成される国際規格は、CD（Committee Draft:委員会原案）を経た後、DIS（Draft International Standard:国際規格原案）となり5か月の間回付されます。その後FDISが発行され、2か月間の投票期間を経て承認された後にIS（International Standard:国際規格）として正式に発行されます。ISO9001:2008は8月上旬にFDISが発行され10月上旬までの投票期間に入っています。

*2【ISO9001:2008】

FDISの投票期間が終了し承認された後にIS（ISO9001:2008）が発行されます。順調にいけば10月末にはISO9001:2008が発行されることとなります。

*3【JIS Q 9001:2008】

ISO9001:2008発行後に日本工業規格として発行されるのがJIS Q 9001:2008です。順調にいけば12月末に発行されることとなります。ただし状況によっては2009年発行になる可能性もあります。



IAF-ISO 共同コミュニケ ISO 9001:2008 に対して認定された認証の実施

ISO (国際標準化機構) と IAF (国際認定機関フォーラム) は、ISO 9001:2008 への、認定された認証の円滑な移行を確実にするための実施計画について合意した。品質システム認証機関又は審査員認証機関及び ISO 9001 認証サービスを利用している産業界を代表する諸国際団体とのすり合わせは、既に済んでいる。

ISO 9001:2008 には、新規の要求事項はない。

ISO と IAF は、ISO 9001:2008 では、新規導入の要求事項はないことを認めた。ISO 9001:2000 には、現在まで、世界中の 170 か国で約百万件の登録証を発行してきた 8 年間にわたる実績がある。その経験に基づいて、ISO 9001:2008 では、ISO 9001:2000 の既存の要求事項の明確化を行うのみである。また、ISO 14001:2004 との整合性向上を意図した変更も行っている。

したがって、認定された認証に関して合意された実施計画は、以下のとおりである。

ISO 9001:2008 に対する認定された認証は、ISO 9001:2008 が、国際規格として発行されるまで、授与してはならない。

ISO 9001:2008 及び/又は各国のそれに相当する規格への適合の認証は、ISO 9001:2008 が正式に出版された後 (2008 年末までには出版予定)、ISO 9001:2008 に対する定期的なサーベイランス又は再認証審査の後でなければ、発行してはならない。

ISO 9001:2000 に対する認証の有効性

ISO 9001:2008 出版の 1 年後以降、発行される認定された認証は (新規又は再認証) すべて、ISO 9001:2008 に対するものでなければならない。

ISO による ISO 9001:2008 出版の 24 か月後の時点で、ISO 9001:2000 に対して発行された既存の認証は、すべて失効する。

注: この文書は、ISO News 「[ISO and IAF announce schedule for implementation of accredited certification to ISO 9001:2008](http://www.iso.org/iso/pressrelease.htm?refid=Ref1152)」 (20 August 2008) の内容を変更することなく本協会が翻訳したものです。原文は、以下の ISO ウェブサイトから入手できます。
<http://www.iso.org/iso/pressrelease.htm?refid=Ref1152>

2008 年 8 月 29 日
財団法人日本適合性認定協会

JQAでISO9001を登録しているお客さまへ

- ・ 2008年版への移行に必要な情報はJQAから直接文書などご連絡します。
- ・ 2008年版への移行に関するお問い合わせはJQAサービス支援担当までお願いします。

マネジメントシステム部門 推進センター (東京) TEL:03-6212-9555
ISO関西支部 TEL:06-6393-9063 ISO中部支部 TEL:052-533-9221

ISO9001:2008規格改訂や移行に関する情報はJQAホームページにも掲載しています。